



130年の歴史を胸に 政友小学校休校式

児童数の減少により3月末で休校する政友小学校で3月19日、児童や地域住民ら約150人が出席し休校式が行われました。政友小は1886（明治19）年に柴川簡易小学校として創立され、かつては250人を超える児童が学びました。最後の卒業生となった4人がスライドで一年間の歩みを振り返り「130年の歴史を誇る政友小学校で学んだことは私たちの誇り。今日まで私たちを育ててくれてありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。最後に出席者全員が起立して校歌を斉唱し、慣れ親しんだ学びやに別れを告げました。

「いさらみ」が最優秀を受賞

今年で7回目を迎えた富士正晴全国高等学校文芸誌賞の授賞式が3月11日、ホテル大歩危峡まんなかで行われ、受賞者に賞状などが贈られました。同賞は三好市出身の作家富士正晴氏の功績をたたえとともに、高校生の文芸創作活動への関心を高めようと創設されたものです。全国60校の応募の中から最優秀賞を受賞したのは福岡県筑紫女学園高校の生徒が制作した「いさらみ」。今回から全国高校生文学賞（四国大学学長賞）も創設されたほか、県内では脇町高校の「文卵」が奨励賞に選ばれました。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりの情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎72-7646

フォトコンテスト最優秀賞に「燃ゆる高原」

三好市の風景を対象とした「千年のかくれんぼフォトコンテスト」の表彰式が3月20日、東祖谷の「旅の宿奥祖谷」で行われました。市内外から566点の応募があり、最優秀賞には春を告げる塩塚高原野焼きで空を染め上げる紅色の幻想的な美しさを捉えた豊田郁夫さん（四国中央市）の「燃ゆる高原」が選ばれたほか、33点の写真が入賞しました。入賞作品は今後観光パンフレットなどに活用されるほか、4月下旬まで「東祖谷歴史民俗資料館」で展示され、その後もレストランまんなかななどで写真展が開催される予定です。

観光列車おもてなしに一役 市観光大使北山たけしさん

JR四国の新観光列車『四国まんなか千年ものがたり』の運行開始を記念して4月1日、のってきでみて「三好夢ものがたり」がかずら橋夢舞台で開催され、市観光大使6年目をスタートする北山たけしさんがミニコンサートで会場を盛り上げました。かずら橋夢舞台物産館では、かずら橋の架け替えの様子などを紹介した「かずら橋ストーリー館」を設けるなど、今春リニューアル。テープカットを行った北山たけしさんは、この後、大歩危駅に到着する観光列車のお客様をお出迎えして、夜には、ホテル秘境の湯でディナーショーを行い、「三好市の魅力を全国にPRしていきたい」と語りました。



林業関係者に功労表彰



三好地域の豊富な林業資源を活用し地域の活性化を図っていくと3月23日、第31回林業従事者のつどいが三野木材センターで開催されました。木霊碑の前で労働安全祈願祭が行われたほか、優良林業従事者表彰と林業功労者表彰が行われ、三好市では西部森林組合の小川和起さんとセルフ著蔵にそれぞれ表彰状と感謝状が手渡されました。また、「ママの視点からの木育について」と題し、NPO法人チルドリン徳島の野田由香理事長による林業講演も行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

激戦を勝ち抜き県大会で優勝



徳島県のチャンピオンを決める県内最高峰の大会「第36回徳島県春季少年柔道大会」が3月12日、鳴門ソイジョイ武道館で開催され県内186人が参加しました。3年生の部で見事優勝した王地小学校の藤本翔湧くんは「目標だった県大会で優勝することができてとてもうれしいです。決勝戦では僅差での勝ちだったので、次の大会ではオール一本勝ちできるように練習をがんばり強くなりたいです」と抱負を述べました。藤本くんは井川武道会で幼稚園から高校生28名と共に切磋琢磨し柔道の練習に励んでいます。

災害用移動炊飯器を寄贈



日本赤十字社県支部と阿波銀行は3月9日、三好市と三好市地区赤十字奉仕団に災害用移動炊飯器を各1基贈り、中央公民館で寄贈式が行われました。炊飯器は直径80㌢、高さ60㌢、容量80㌢、非常用炊飯袋で約120袋を炊くことができ、汁モノであれば300人分が調理できます。寄贈式では、日赤県支部の小森事務局長と阿波銀行池田支店の西木支店長から記念のおたかが手渡され、奉仕団の福田博子委員長からは「必ず来る地震に備えて地域のイベントなどで活用し災害に備えたい」と述べました。



災害時にドローンを活用 徳島森林管理所と協定

三好市は林野災害時における小型無人機「ドローン」を活用した支援協定を3月23日、林野庁四国森林管理局徳島森林管理署と締結し、黒川市長と徳島森林管理署の多田弘之署長が三好市役所で協定書に調印しました。協定では、市内の民有林地震や台風などにより被災があった場合、ドローンを飛ばし上空から現場の状況を確認し、被災原因の推定や対策の提案を行います。徳島森林管理署が新たな民有林支援の一環として、県内一の国有林面積がある三好市に申し出たもので、ドローンを活用した災害時協定を林野庁と自治体が結ぶのは全国初です。